

令和3年度 指定管理業務 評価票

1 基本事項

(1)公の施設の名称	糸魚川シーサイドバレースキー場
(2)施設の設置目的	交流人口の増大を図り、地域振興及び地場産業の振興並びに市民の健康増進及び体育の向上に寄与する。
(3)所管部署	商工観光課
(4)指定管理者	株式会社 糸魚川シーサイドバレー
(5)指定期間	令和2年4月1日～令和5年3月31日
(6)主な事業	※ 施設の運営・管理に関する業務 スキー場 ①利用料金の徴収・レンタル用品の貸し出し ②リフト運行の安全確保・点検整備・場内のパトロール ③負傷者の早期発見・処置 ④備品の維持管理 ⑤ゲレンデ整備・維持管理 宿泊・温泉 ①宿泊・温泉利用料金の徴収 ②宴会・料理の提供 ③宿泊・入浴施設の点検・維持管理

2 管理運営状況

(1)令和3年度管理運営状況(主要な取り組み・成果、地域貢献等の実績)

企画・イベント

○ホームページとSNS等との連携と発信回数の増加及び、インターネット上での新規顧客へのPR活動。

○パンフレットの送付と各種団体会報等への広告掲載による情報発信の拡大と誘致。

○冬季レストランメニューのリニューアルを図ることでの顧客満足度向上と、売上の増加。

○スポーツショップとの連携による情報共有と新規顧客の開拓。

○スキーシーズン
糸魚川ジオパークGSL大会・滑降大会(中止) ・他県、市内、各種団体、クラブ、学校の大会及び授業(一部中止)
高知県スキー連盟合宿・スキー子供の日・市民スキー大会・綱島モータース杯GSL大会・ケツブリジャパンカップ
あんこう汁のおもてなしで心も身体もポッカポカ祭・残雪スノーロータリーフェア体験会・フォトコンテスト

○グリーンシーズン
ファンライドフェスティバル(オフロードバイク走行会・年1回中止) ・各種団体及び学生の合宿(中止)
塩の道コンサート(中止) ・新そば祭り(中止)
新蕎麦持ち帰りフェアー ・パラグライダーフリーフライト ・高齢者憩の家の運営

○地域貢献
根知振興協議会及び根知小学校のアルミ缶リサイクル活動への仕分け運搬での協力

(2)利用状況

(単位:人)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
指定管理者名	株式会社糸魚川シーサイドバレー	株式会社糸魚川シーサイドバレー	株式会社糸魚川シーサイドバレー
総利用者数	19,457	30,720	32,187
塩の道温泉	16,433	7,896	9,374
ホワイトクリフ(宿泊)	3,024	2,084	2,283
索道(リフト)	0	20,740	20,530

(3)施設の設置目的達成に関する取り組み

交流人口の増大を図り、地域振興及び地場産業の振興並びに市民の健康増進及び体育の向上に寄与する。

■交流人口の拡大

・学校、サークル、各種団体の大会、合宿、授業等の誘致。・イベント、オフロードバイク走行会、パラグライダーによる市外県外客の誘客。

■地域振興及び地場産業の振興

・根知振興協議会及び根知小学校のアルミ缶リサイクル活動への協力・地元産の食材(米・日本酒等)加工品等の販売とレストランでの使用。

■市民の健康増進及び体育の向上

・糸魚川スキー学校及びオーストリアスキー教室と連携した、スキー、スノーボード教室の開催。・市内学校のスキー授業の受け入れ。

・市民スキー大会及び各種スキー大会の実施。

・塩の道温泉(ホテルホワイトクリフ内)の運営、管理と高齢者憩の家の受け入れ及び開設

(単位:千円)									
区 分			令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度(予算)
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画
営業損益	売上高	指定管理料	28,000	81,000	39,000	74,339	39,000	63,000	39,000
		修繕委託料	20,000	19,999	23,000	22,900	29,000	29,920	24,000
		使用料金	114,500	30,743	101,300	63,754	85,000	67,797	94,000
		営業収入	62,000	21,791	61,450	26,222	39,500	29,560	41,600
		その他営業収入	11,000	20,427	11,000	7,019	10,000	7,015	4,000
		小計	235,500	173,960	235,750	194,234	202,500	197,292	202,600
	仕入・原材料費	ホテル	17,500	11,032	16,500	8,804	10,500	7,720	8,000
		歩荷	8,000	4,767	6,100	2,178	2,000	1,829	2,000
		レストラン	4,000	955	5,000	1,577	1,500	1,596	2,000
		レンタル	1,000	374	3,700	1,359	1,000	1,161	1,500
		ドローン		1,426	700	684	500	688	0
		小計	30,500	18,554	32,000	14,602	15,500	12,994	13,500
	販売費一般管理費	人件費	88,060	57,849	83,850	67,704	78,600	70,083	74,750
		修繕費	35,400	34,128	30,000	31,596	16,000	37,595	27,000
		水道光熱費	24,000	17,605	24,400	18,767	23,070	32,977	32,600
		業務費	31,950	19,427	31,250	32,939	25,400	17,151	17,600
		維持管理費	3,540	3,464	3,360	3,875	3,390	3,717	3,500
		賃借料	15,300	11,392	16,600	18,438	17,600	14,588	13,000
		租税公課	14,550	9,132	9,400	10,741	11,400	9,844	10,300
		管理諸費	5,900	3,821	5,250	4,406	5,250	4,840	4,710
		他					6,290	4,280	4,500
		小計	218,700	156,818	204,110	188,466	187,000	195,075	187,960
			249,200	175,372	236,110	203,068	202,500	208,069	201,460
		営業利益		-1,412		-8,834		-10,777	
		利益率							
	営業外損益	営業外収益	雑収入		2,538		9,113		7,357
小計				2,538		9,113		7,357	
営業外費用		借入利息		1,472		140		398	
		固定資産廃棄損						2	
		小計	0	1,472	0	140	0	400	
差引		0	1,066	0	8,973	0	6,957		
特別損益			560		41		2,398		
特別損失							0		
差引			560		41		2,398		
税引前当期純利益			214		180		-1,422		
法人税等			180		180		180		
当期純利益			34		0		-1,602		

「収支状況」における市の状況分析

支出面については、修繕を自社対応で行うなど、経費削減に努めている。
スキー場は、12月17日オープン予定であったが、当初の降雪不足によりオープンが12月29日からとなった。その後は、降雪にも恵まれ、順調な運営であったが、1月21日にまん延防止等重点措置が発令され、スキー授業や合宿等のキャンセルが相次ぎ、収入は当初見込みを下回り、協定のリスク分担に基づき、指定管理料の増額を行った。
今後とも、通年の収入確保を図る必要があることから、グリーンシーズンにおいても収益を向上する取組が不可欠である。

3 適正な管理運営の確保

目標管理	評価指標	利用者の安全確保、適切な施設管理（索道）
	目 標	・異常、不具合の早期発見、対応 ・無事故、無災害
	実 績	・索道事故はなし ・インシデントなし

実施状況	点検項目	【実施状況】
	・施設の設置目的を十分に理解し、適正な管理運営をしているか。	利用者の安全確保のため、適正な管理運営に努めている。
	・誰もが利用できる仕組みを構築し運営しているか。	・子供、シニア、身障者等の適正な利用料金の設定と販売の実施。 ・家族向けファミリーチケットの販売
	・協定書及び仕様書等に基づいて設備の保守点検や備品の点検を適正に実施しているか。	・毎朝、営業前に設備の始業点検を実施。 ・チェックリストによる確認をおこなった。
	・協定書、事業計画書等で定めた職員体制がとられているか。	・有資格者を配置するとともに、適正な人員を配置した。
	・利用者が安全、安心して利用できるような緊急・救急体制を有しているか。	・ケガ、事故発生時のマニュアル・連絡体制を全リフト及び宿泊、食堂等全施設に掲示し、指示をおこなった。
	・事故防止や事故発生時の対応について研修等を実施しているか。	・救急法研修会・索道技術研修会・避難訓練 ・雪上車研修会・索道救助訓練・公認パトロール研修会・安全運転管理者講習会等を受講。
	・利用者等からの意見・要望・苦情等とその対応	安全対策等での苦情はない。

評価等		指定管理者の自己評価	市の評価
	評 価	A+	A+
	評価理由	・安全対策においては、日常的かつ適切に講習、訓練等を実施している。 ・索道施設及びゲレンデは、実施計画を制作し、計画に沿って整備点検を実施。	・緊急時対応のための組織図、連絡網が整備されており、安全対策の徹底、コースの維持管理が適正に行われている。 ・ゲレンデ整備をシーズン前から実施しており、オープン時に特段の支障はなかった。 ・従業員の作業時における安全管理について、引き続き徹底願いたい。
	改善事項	降雪量に応じたゲレンデ整備や安全対策の実施。	大雪の影響により、ゲレンデ整備に困難をきたす日もあったが、スキー場利用者の安全を第一にスキー場運営を実施した。

【評価基準】

ランク		目標達成率(%)	判断基準
AAA		115%以上	事業計画の目標や仕様書の内容を大幅に上回る成果があり、特に優れているもの。
AA		105%以上 115%未満	事業計画の目標や仕様書の内容を上回る成果があり優れているもの。
A	A+	100%以上 105%未満	事業計画の目標や仕様書の内容に概ね沿っているもの。
	A-	95%以上 100%未満	
B		80%以上 95%未満	事業計画の目標や仕様書の内容を下回り、改善努力が必要なもの。
C		80%未満	事業計画の目標や仕様書の内容を大幅に下回り、早急に改善対策を要するもの。

4 利用者サービスの向上や利用者数増の取り組み

目標管理	評価指標	索道利用者数の増加						
	目 標	30,000人						
	実 績	20,530人 （目標達成率68.4%）						
	【12月】 下旬に積雪があり29日に営業開始。オープン予定が							
	年度	12月	1月	2月	3月	シーズン計	営業日数	12日間おくれた。年末の入込は順調だった。
	3	1,300	9,640	6,830	2,760	20,530	81	【1月】 年始は大雪、2週目からはコロナ感染拡大の影響で来
	2	2,250	6,710	9,610	2,170	20,740	93	場者数は減少、一部の大会・イベント・授業は中止となった。
	1	0	0	0	0	0	0	【2月】 大雪とコロナまん延防止等重点措置の発令により、
	30	1,990	14,130	10,920	2,480	29,520	85	来場者は減少、例年の約60%にとどまった。
	29	2,720	14,160	8,970	2,710	28,560	93	【3月】 気温の上昇による雪質の悪化はあったが来場者数は
	28	980	13,030	8,430	2,920	25,360	88	例年の90%ほどだった。

実施状況	点検項目		【実施状況】	
	・施設の設置目標を達成するための具体的の取組があったか。		県外・市内の学校、各種団体、サークル、クラブ等の大会、合宿の誘致及び、市民スキー大会等の開催。	
	・利用促進に向けた取組みに努めているか。実現可能な利用促進策を実施しているか。		平日宿泊パック、ファミリーチケット等のお得な商品の販売 スキー子供の日、スキーの日設定による利用者増加策の実施	
	・教室、イベント、自主事業などの取組み状況		スキー学校との連携による市内、県外のスキー授業の受入 あんこう吊るし切イベントの開催	
	・利用者数増加のためのPR活動は実施しているか。		ホームページとSNSの連携による情報発信、県内、近県のラジオCM、一部県連会報、雑誌の掲載による広報活動。	
	・利用者アンケート等を活用し利用者の要望や意見を把握しているか。また対応策を講じているか。		メール等での意見・要望をいただきながら、適切丁寧な対応を心掛け、対応にあたっている。	

評価等		指定管理者の自己評価	市の評価
	評価	B	B
	評価理由	高知県スキー連盟の合宿など、新規顧客の受け入れを実施することができた。また、アンコウの吊るし切イベントでは市内の学校、企業等との連携も生まれ、今後の運営の指標となる有意義な活動となった。	コロナ禍ではあったが、スキー合宿新規顧客の獲得やSNSによる情報発信によるスキー場誘客促進に尽力された。
	改善事項	スキー・スノーボード以外で、ファミリーが一日楽しめるアトラクションやエリアの開発。平日の日帰り及び宿泊客の獲得対策の導入（ワーケーション等）	スキー・スノーボード以外でもスキー場を楽しめる新たなゲレンデ活用の事業展開に期待する。

【評価基準】

ランク		目標達成率(%)	判断基準
AAA		115%以上	事業計画の目標や仕様書の内容を大幅に上回る成果があり、特に優れているもの。
AA		105%以上 115%未満	事業計画の目標や仕様書の内容を上回る成果があり、優れているもの。
A	A+	100%以上 105%未満	事業計画の目標や仕様書の内容に概ね沿っているもの。
	A-	95%以上 100%未満	
B		80%以上 95%未満	事業計画の目標や仕様書の内容を下回り、改善努力が必要なもの。
C		80%未満	事業計画の目標や仕様書の内容を大幅に下回り、早急に改善努力が必要なもの。

5 収支や収益の向上に関する取り組み

目 標 管 理	評価指標	利用料金収入の達成状況			
	目 標	索道収入 54,000千円			
	実 績	索道収入 45,964千円（目標達成率85.1%）			
資 料					【3年度】12月に降雪が遅れ、オープンが12日間延長となったり、1月2週目からのコロナ感染拡大の影響で、索道収入は平年の84%にとどまった。
	年度	計画	実績	達成率	
	3	54,000	45,964	85.1%	
	2	53,300	43,015	80.7%	【2年度】新型コロナ感染の影響が大きく、イベント大会は中止となった。来場者減少も大きい。
	1	64,000	678	1.1%	
	30	62,000	47,621	76.8%	
	29	62,000	51,925	83.8%	
	28	61,000	49,033	80.4%	【元年度】小雪、暖冬の影響を受け、索道営業が出来ず1月31日にて営業を終了とした。売上はシーズン乗車券販売のみとなった。

実施状況	点検項目		【実施状況】
	・施設の設置目的に沿った経費の執行ができたか。		無駄な経費を見直し削減につとめたが、近年の燃料費・人件費の高騰が懸念される。
	・利用料収入の目標達成度		目標達成率85.1%（コロナ感染拡大が影響）
	・収入増加のための取り組みを実施しているか。		新規顧客獲得への営業。積極的な団体の合宿大会等の受け入れ。SNSでの情報発信回数増加による新規顧客へのアプローチ。
	・収支決算書は適正に作成されているか。		税理士事務所とともに適正に作成した。
	・経費削減や業務の効率化に取り組んでいるか。		補助金を活用し券売機導入による業務の効率化。平日の閑散期、2日間の休業及び、リフト1本休止による経費の削減。
	利用者等からの意見・要望・苦情等とその対応		メール等での意見・要望・苦情等には迅速に対応している。

評価等		指定管理者の自己評価	市の評価
	評 価	B	B
	評価理由	高知県スキー連盟の合宿誘致、アンコウ吊るし切イベント、フォトコンテスト等、新規顧客、新たなイベントの開催や試みを実施して誘客に努めたが、コロナ感染拡大と1月・2月の大雪で来場者数とレストランの売上が伸び悩んだ。	宿泊を伴うスキー場利用については、収益増を見込めることから、新たなスキー場合宿を誘致されたことは評価に値する。また、SNSによるスキー場の情報発信、新規イベントを実施など、スキー場誘客促進に尽力された。
	改善事項	シーズンを通しての平日の誘客、2月から3月の平日の宿泊の誘客が課題。	通年を通して収益を確保するため、キャンプ場事業、ワーケーション事業などの事業展開に期待する。

【評価基準】

ランク		目標達成率(%)	判断基準
AAA		115%以上	事業計画の目標や仕様書の内容を大幅に上回る成果があり、特に優れているもの。
AA		105%以上 115%未満	事業計画の目標や仕様書の内容を上回る成果があり優れているもの。
A	A+	100%以上 105%未満	事業計画の目標や仕様書の内容に概ね沿っているもの。
	A-	95%以上 100%未満	
B		80%以上 95%未満	事業計画の目標や仕様書の内容を下回り、改善努力が必要なもの。
C		80%未満	事業計画の目標や仕様書の内容を大幅に下回り、早急に改善対策を要するもの。

6 公の施設の設置目的と全体評価

検 証 等		市の評価		
	評 価	設置目的	目標管理（評価指標）の再掲	指標別評価
		交流人口の増大を図り、地域振興及び地場産業の振興並びに市民の健康増進及び体育の向上に寄与する。	利用者の安全確保、適切な施設管理（索道）	A＋
			索道利用者数の増加	B
			利用料金収入の達成状況	B
		評価内容		総合評価
	市民の健康増進、及び県外観光客の誘客、地元雇用による地域経済の活性化につながっている施設であり、設置目的に合致している。 新型コロナウイルス感染拡大の影響により索道収入は見込額を下回ったが、市内外学校のスキー教室やスキー大会開催等、市民の健康増進及び体育の向上に寄与する重要な施設である。 地元産のお米、地酒、加工品等の販売を積極的に行っており、地域振興及び地場産業振興に寄与している。		B	
課題検証	・観光関係者（宿泊施設・ＪＲ・観光協会など）とタイアップし、スキーを旅行行程の一つとした旅行商品の造成など、新たな利用者確保が求められる。 ・グリーンシーズンにおけるスキー場での新たな取組（キャンプ場、ワーケーション事業等）について、営業活動の強化が課題である。 ・スキー場施設にかかる維持管理については、施設全体の老朽化が進んでおり、索道・宿泊施設・食事施設などの改修費用が必要となることが見込まれる。			
改善事項	・グリーンシーズンを含む年間を通したスキー場の活用について、交流人口の増大、地域振興に結び付く今後の事業展開と営業活動に期待する。 ・気軽に行けるスキー場づくりやスキー競技・スキー合宿の誘致などの積極的な営業展開に期待する。 ・現在、糸魚川市スキー場管理活用等調査業務を外部委託中であり、その調査結果を基に、今後の市内スキー場のあり方について検討を進める。			

【総合評価】

評価区分	判断基準
AAA	優良である
AA	良好である
A	適正である
B	課題がある
C	改善を要する

公の施設指定管理者選定委員会（評価委員会）の意見書

1 指定管理者名 株式会社糸魚川シーサイドバレー

2 対 象 施 設 シーサイドバレースキー場

3 評価委員会の意見

項目	意 見
対象施設に対するもの	・グリーンシーズンと冬季のスキーシーズンについて、収支を切り離して管理することでそれぞれの状況を明確化すること。グリーンシーズンの運営が負担となっている場合には、指定管理業務から除くことも含めて検討すること。 ・現在実施しているスキー場管理活用等調査の結果を受けて、施設のあり方や、存続等について検討を行うこと。 ・管理運営形態については、上記調査の結果等を見る中で、指定管理以外の方法も含めて総合的に考え判断すること。 ・小雪の場合のリスクについて、指定管理者側にも相応の負担をしてもらうべきである。現行のリスク分担について、見直しを行うこと。